

## 平成22年度第2回競技委員会

期 日：平成23年1月14日(金)・15日(土)

会 場：愛知県・ルブラ王山

出席者：口谷、釜井、高田、伊勢、市ヶ谷、森、  
根岸、鳴海、山西、諸江、松本、豊田

- ・ 部長挨拶
  
- ・ 第35回全国高等学校選抜フェンシング大会(群馬大会：森)
  - ・ 大会会場と諸会議の会場が変更になった。
  - ・ 審判器は栃木県より借用し機器の統一を図る。
  - ・ 宿泊関係はTOPツアー。
  - ・ DTの広さについては、群馬県に任せる。
  - ・ 練習会場
    - ・ 観客席にランニングコースがあるので、そこでのウォーミングアップは可能。ただし剣を用いての練習は不可。→監督会議などで周知していく。
    - ・ 競技副委員長(県F協会理事長)、技術委員(県F協会協会長)は業務内容を踏まえて、競技副委員長(県F協会会長)、技術委員(県F協会理事長)に変更する。
    - ・ 同様にDT事務局次長も変更する。
    - ・ 用具検査官：松本先生、ピスト指導員：安藤先生に変更。
    - ・ 審判員は最低24名を確保する。旅費の関係もあるので近県より手配したい。
    - ・ 申込用紙等は、本年度は郵送せず本専門部公式HPよりのダウンロードとする。  
(1月13日よりダウンロード可能)
  - ・ 抽選会の期日が迫っているので、地区大会が終わり次第速やかな  
申し込みをお願いしたい。
  
- ・ 平成23年度全国高等学校総合体育大会(青森大会：鳴海)
  - ・ 実施要項の変更点
    - ・ 日清食品の協賛を削除。
    - ・ 宿泊要項を要項に追加記載。
    - ・ 組合せ抽選会の会場をむつ市役所会議室へ変更。
    - ・ 常任委員会、技術委員会の会場を下北文化会館大会議室へ変更。
    - ・ 全国委員会、監督会議、審判会議の会場を下北文化会館展示ホールへ変更。
    - ・ 用具検査基準を要項に追加。
    - ・ 透明マスクの使用については、フルーレのみ不可。サーブルは可。
  - ・ 競技会場について
    - ・ 観客席がないので、仮設で600～700席を設置予定。
    - ・ 放送設備については全館可能。

- ・練習会場について
  - ・むつ市民体育館は7月28、29日の両日のみ。  
市民体育館←→下北駅←→しもきた克雪ドームの巡回バスを計画
  - ・7月28日～8月2日は、しもきた克雪ドーム内にも設置。
    - ・競技会場内の練習会場については、セレモニー中は練習を中断させる。
- ・競技、運営役員および補助員系統案(別紙)
- ・個人情報および肖像権に関わる取り扱いについて(別紙)
- ・宿泊関係について
  - ・むつ市外に配宿予定あり(30分圏内)。
  - ・公共施設に配宿されないように要望中。
- ・式典の簡略化について
  - ・特に問題なし。
  - ・閉会式をできる限り競技終了後すぐ行いたい。
- ・審判手当について
  - ・有無も含めて検討中。
  
- ・第36回全国高等学校選抜フェンシング大会(愛知大会・豊田)
  - ・実施要項(案)の説明。
  - ・練習会場と試合会場が離れているので、シャトルバスを運行予定。
  - ・体育館の会場が9:00なので、競技開始は10:00。
  - ・競技場に余裕があるので予備ピストは設置可能。
  
- ・平成24年度全国高等学校総合体育大会(富山大会・谷内)
  - ・会場は富山市総合体育館。
    - ・アップ場なども体育館で可能。
    - ・駐車場の台数が多くない
  - ・表彰について
    - ・開催地のメダルは必要か？  
→検討していく。
  - ・計画輸送の予定はない。
  - ・組合せについて
    - ・地元で行う必要はあるのか？  
→現在は開催地がプログラム編成会議として開催している。抽選会だけではないので地元で開催した方が有益である。
  - ・宿泊について
  
- ・審判用語の一部変更について(伊勢)
  - ・すでに(社)日本フェンシング協会のHPの方に掲載されている。

- ・「審判の留意点」について(伊勢)
  - ・別冊参照
  - ・資料について何点か修正あり。
    - 修正したものを日本協会の中田さん、早稲田高校の栗原先生に確認していただく。
    - 常任委員会で決定後、専門部のHPへ掲載する予定。
  
- ・加盟校登録状況(山西)
  - ・別紙参照
  - ・新規で4校増
  
- ・リレー方式について(口谷)
  - ・別紙参照
  - ・日本協会から導入できないかと要請があり、数年前に決定した事項ではあるが、再度話題にのせたい。頭から否定的にとらえるのではなく、高体連で現実的に実施できる案を考えてもらいたい。
  - ・日程的には、現行の日程を延長するのは不可能。
    - ・コールドゲーム制の採用
    - ・1ゲームを1分間5本勝負にするなど、試合時間を短くする。
  - ・2名での参加は不可。
  - ・今後小委員会を設置して、リレー方式のメリット、デメリットについて研究していく。  
(小委員会メンバー：諸江、伊勢、市ヶ谷、口谷)